

# 情報可視化論 W15 課題

177x006x 河野大輔

Web 上で拾ってきたボリュームレンダリングを用いたリアルな炎のプログラムを拡張した。

まず、stats をウィンドウの左上に表示するプログラムを実装した。これはサンプルプログラムからそのままコードを引っ張ってきた。クリックすることで FPS の表示と遅延の時間の表示を切り替えることができる。

また、プログラムに UI を実装し、値を変化させることで炎の揺らめき方を変えるプログラムの実装を試みたが、完成しなかった。Html 内のシェーダーの設定をするスクリプト内で lacunarity, gain, sum, freq, amp の値を変えることで炎の揺らめきが変わることを確認したが、その値をリアルタイムで UI を用いて変更することができなかった。スクリプト間で値の受け渡しができなかった。

参考 URL

<http://webgl-fire.appspot.com/html/fire.html>

[http://qiita.com/edo\\_m18/items/d0451e4cc0b71dbcf112](http://qiita.com/edo_m18/items/d0451e4cc0b71dbcf112)